

令和 5 年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	歴史総合		単位数	2	履修学年	1	学科・コース	普通科・理数科																				
教科書	詳述歴史総合（実教出版）			副教材等	ダイアログ歴史総合			担当者	干場・尾村																					
1. 科目の目標				2. 学習の進め方や留意点				3. 評価の観点と函中コンピテンシー																						
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。 そのため、特に次のことに留意する。 ①世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉えられる。 ②諸資料から様々な情報を調べまとめられる。 ③歴史的意義，時期，推移，比較，相互関連，現在とのつながりに着目させる。 ④よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。				・世界の中の日本を意識し、関連付けるよう心掛ける。 ・世界と日本の事象をおよそ交互に触れることで、広い視野を身につける。				<table><tr><td></td><td>知識・技能</td><td>思考・判断・表現</td><td>主体的な態度</td></tr><tr><td>傾聴力</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>思考力</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>先見力</td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>				知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度	傾聴力	○		○	思考力	○	○		協働力			○	先見力		○	
												知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度																
											傾聴力	○		○																
											思考力	○	○																	
											協働力			○																
											先見力		○																	

4. 学習計画と評価規準

月	単元・学習内容	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	A 歴史の扉				
	(1) 歴史と私たち	1	私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。	日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し，表現することができる。	よりよい社会の実現を視野に、授業内容や課題を主体的に追究、解決しようとする。 日々の学習に対して、粘り強く取り組もうとする。
	(2) 歴史の特質と資料	1	資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現することができる。	
	B 近代化と私たち				
5,6	(1) 近代化への問い	1	資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につける。	主題を設定し，比較・相互関連などを通じて，関係の変容などを考察し，表現することができる。	
	(2) 結びつく世界と日本の開国	3	18 世紀のアジアの経済と社会，産業革命，交通・通信手段の革新，中国の開港と日本の開国などを元に世界市場の形成を理解する。	産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目することができる。	
	(3) 国民国家と明治維新	8	欧米の市民革命や国民統合の動向，明治維新や憲法の制定などを基に，立憲体制と国民国家の形成を理解する。	国民国家の形成の背景や影響などに着目する。政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを考察し，表現することができる。	
6,7	(4) 近代化と現代的な諸課題	8	【日々の学習ワークシート・振り返りシート・小テストなど】 列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。	帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などから、帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを考察し，表現することができる。	
	C 国際秩序の変化や大衆化と 私たち				

7,8,9	(1) 国際秩序の変化や大衆化への問い	8	国際関係の緊密化，米ソの台頭，植民地の独立，大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化，生活様式の変化などを理解する。	国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について、考察することができる。
9,10	(2) 第一次世界大戦と大衆社会	8	【前期期末考査・日々の学習ワークシート・振り返りシートなど】 第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソ連の成立と米の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。	大戦の推移と影響，日本の参戦の背景と影響などに着目する。大戦の性格と惨禍，日本と他国の関係や国際協調体制の特徴などを考察し，表現することができる。
11,12	(3) 経済危機と第二次世界大戦	8	世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解する。 第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。	経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目する。各国の恐慌対応，国際協調体制の動揺の要因などを考察し，表現する。 大戦の推移と影響に着目する。大戦の性格と惨禍，大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを考察し，表現することができる。
	(4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 D グローバル化と私たち			
12	(1) グローバル化への問い		冷戦と国際関係，人と資本の移動，高度情報通信，食料と人口，資源・エネルギーと地球環境，感染症，多様な人々の共存などに触れる。	グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを立てることができる。
1	(2) 冷戦と世界経済	4	脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解する。	地域紛争の背景や影響，冷戦の影響などに着目する。地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソ連の政策転換の要因などを考察し，表現することができる。
2	(3) 世界秩序の変容と日本	4	西欧や東南アジアの地域連携，計画経済とその波及，日本の高度経済成長などを基に，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，	冷戦の影響，地域連携の背景と影響，日本の高度経済成長の背景と影響などに着目する。 冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容などを考察し，表現することができる。
3	(4) 現代的な諸課題の形成と展望	3	【後期期末考査・日々の学習ワークシート・振り返りシートなど】 冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。	アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などの着目する。 冷戦の変容と終結の背景，民主化や地域統合の背景と影響，地域紛争の拡散の背景と影響などの着目することができる。